

たかねざわ

議会だより

4 April.2026
No176



光あふれる未来へ
東小学校入学の日

Contents

- 第436回定例会・・・2
- 一般質問・・・・・・・・・・14
- 令和8年度予算・・・4
- たかこう生と議員との
カフェ・ド・ギカイ・・・・・・・・21
- 常任委員会・・・・・・8
- 突撃インタビュー 甲斐咲輔さん・・24
- 全員協議会・・・・・・12

基本方針&予算編成 に満ちたまちを築く 最大144億1千万円を承認

令和8年度 町政運営

未来への安心と希望 一般会計当初予算 過去



第436回議会定例会のあらまし

定例会は3月3日から17日までの15日間の日程で開催しました。条例の制定1件、一部改正5件、町長専決処分事項の承認1件、監査委員・固定資産評価審査委員会委員の選任同意3件、令和7年度補正予算4件、令和8年度当初予算6件、工事請負契約の変更1件、諮問1件、陳情1件、意見書1件を審議しました。また、議員から横須賀忠利議員に対する議員辞職勧告決議案が提出され、賛成多数で可決されました。一般質問は、6人の議員が登壇し、執行部との論戦に臨みました。(P14~20)



町長が基本方針を表明!

「高根沢町地域経営計画2026」の初年度、令和8年度においては、「持続可能なまちづくり」の理念のもと、「ヒト」「モノ」「カネ」の見通しを常に立てながら、着実に、堅実に、未来への投資を行い、「明るい未来」に向けたまちづくりを行ってまいります。
(要旨抜粋)

- 新庁舎建設事業費 8億6990万円
- 阿久津中学校改修事業費 7億9930万円
- 東町北区雨水排水対策工事 1億88万円
- 町道700号線道路改良事業費 1億1626万円
- 水道基本料金減免事業費 1億6400万円
- 多面的機能支払交付金広域化推進事業費 2億円
- 学校給食事業費 1億4033万円
- 県立高根沢高校・J.R.鳥山線維持存続対策事業費(通学定期券購入費補助) 300万円

主な事業(8年度分)

- 選任同意
監査委員
荒井真一氏(宝石台)
- 諮問
人権擁護委員の推薦
糸井 鉄夫氏(再任)
- 選任
内田 光昭氏(再任)
- 選任
齋藤 考三氏(再任)
- 任期
令和8年4月1日から令和12年3月31日まで
- 任期
令和8年4月25日から令和11年4月24日まで
- 任期
令和8年6月10日から令和11年6月9日まで
- 任期
令和8年7月1日から令和11年6月30日まで

町民の負託に応えた各議員の賛否! 賛否の分かれた議案のみ掲載

上程された議案等(概要)	採決結果										議決結果		
	瀧幸彦	小堀秀一	菅谷英夫	小池哲也	野口昌宏	澤畑宏之	加藤章	齋藤武男	横須賀忠利	森弘子		野中昭一	阿久津信男
議案第1号 町長専決処分事項の承認 ・専決処分第1号 令和7年度高根沢町一般会計補正予算(補正予算について、専決処分の承認を求めるもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案承認
議案第6号 高根沢町介護保険条例の一部改正 (令和7年度税制改正に伴う介護保険法施行令の一部改正を踏まえ、所要の改正をするもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
議案第10号 令和7年度高根沢町一般会計補正予算議決 (補正予算について議決を求めるもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	原案可決
議案第14号 令和8年度高根沢町一般会計予算議決 (当初予算について議決を求めるもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	原案可決
議案第15号 令和8年度高根沢町国民健康保険特別会計予算議決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
議案第16号 令和8年度高根沢町後期高齢者医療特別会計予算議決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
議案第17号 令和8年度高根沢町介護保険特別会計予算議決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
陳情受理番号25号 日本政府に「非核三原則の堅持を求める意見書」の提出を求める陳情	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
意見案第1号 唯一の戦争被爆国として非核三原則を堅持するよう強く求める意見書	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	意見書案可決
決議案第1号 横須賀忠利議員に対する議員辞職勧告決議案の議決 (横須賀議員に対し、議員として自らその責任を重く受け止め、自らの意思により速やかに議員辞職をするよう強く勧告するもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	×	決議案可決

横須賀忠利議員に四度目の議員辞職勧告

森弘子議員を代表とする議員9名は、本会議において「横須賀忠利議員に対する辞職勧告決議案」を提出し、賛成多数で可決されました。

【決議要旨】
横須賀議員は、令和6年12月に議長からの議員辞職勧告を拒否し、その後三度に渡る辞職勧告決議も無視し、現在も議員活動を続けています。町民の代表者である議員が、議会の議決結果を無視し続けることは、議会の名譽と権威を著しく傷つけ、議会に対する町民の信頼を失墜させるものであり、本町議会として看過することはできません。横須賀議員は、議員としての責任を重く受け止め、自らの意思で速やかに議員を辞職するよう改めて強く勧告します。

四度目の辞職勧告決議全文

令和8年度当初予算 各会計別 総括表

会計区分	令和8年度	令和7年度	前年度予算額比較	伸び率
一般会計	144億1000万円	131億1000万円	13億0000万円	9.9%
国民健康保険特別会計	25億2653万円	25億3070万円	△417万円	△0.2%
後期高齢者医療特別会計	4億3831万円	3億8223万円	5607万円	14.7%
介護保険特別会計	24億0099万円	23億4954万円	5145万円	2.2%
小計	197億7583万円	183億7247万円	14億0336万円	7.6%
公営企業会計				
水道事業会計	13億4678万円	9億1058万円	4億3619万円	47.9%
下水道事業会計	13億4704万円	14億6326万円	△1億1621万円	△7.9%
合計	224億6966万円	207億4632万円	17億2333万円	8.3%

※公営企業会計の予算額は、収益的支出額+資本的支出額で記載しています。
※表中の金額は、1万円未満を切り捨てているため、小計・合計欄および前年度予算額比較欄が一致しません。

8年度の目玉事業に 町民の率直な声は！

令和8年度事業の中で、議員が特に注目した11の目玉事業をピックアップしました。事業内容と議員のこころエック、町民の皆さんの期待や感想、ご意見を掲載します。

安心・安全な暮らしの実現と
住み続けたいと思える
町づくりに向けて



物価高騰対策



水道基本料金減免事業費 1億6400万円

物価高騰の影響を受ける住民と事業者等の負担を軽減するため、国の重点支援地方交付金を活用し、水道料金の基本料金8か月分を減免します。そのため、必要な資金を一般会計から水道事業会計に出資し充当します。

議員のこころエック

- Q** 一般会計からの出資金は、全額が重点支援地方交付金を活用した物価高騰対策のものか？
- A** 上下水道課長
水道料金の基本料金8か月分の減免に、出資金全額を充当する。

私もひとこと



日々の生活に欠かせない水。この料金免除の対応は本当に助かります。
高根沢町水道関係の皆様へ『いつも安心安全な水を届けてくださり、ありがとうございます』

雨水対策



宝積寺駅東児童公園の貯留槽埋設工事 (令和7年度事業)

都市再生整備計画事業費 1億88万円

近年の大雨に対する道路の雨水排水対策として、東町北区の町有地に浸透槽を設置し、宝積寺東部地区の住環境を整えます。

議員のこころエック

- Q** 町内には、雨水対策が必要な箇所が東町北区の他にもあるが、その対応はどのようにするのか？
- A** 都市整備課長
雨水対策が必要な箇所の調査を実施しており、光陽台なかよし公園北側と、たから保育園北側の2か所を、令和9年度以降に順次行っていく。

私もひとこと



今回の雨水対策事業を心強く感じています。雨が強く降る度に道が冠水し、長年不安な思いでした。近くにある保育園の送迎でも安心して通れる道になることを期待しています。

町道整備



町道700号線道路改良事業費 1億1626万円

国道408号宇都宮高根沢バイパスが国道4号まで延伸されるため、安全で円滑な交通の確保に向け、バイパスと町道700号線との接続改良工事を行います。

議員のこころエック

- Q** 県が施工する工事費を負担する理由は？
- A** 都市整備課長
町が行う町道整備工事と、県がバイパス整備に併せて行う町道接続工事の二つがあり、県が施工する分を町が負担する。

私もひとこと



地域住民が利用する生活道路(町道)にバイパスが接続する利便性よりも、大型車が増加する危険度の増大が危惧されます。これまで以上の安全確保対策と、鷲ノ谷交差点の立体交差化を早期に実現してもらいたい。

農地保全



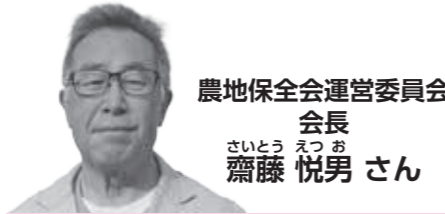
多面的機能支払交付金 広域化推進事業費 2億円

農業者の高齢化や担い手の減少等に伴い、農村地域の集落機能は低下し支障が生じています。農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を目的に、農村地域全体を対象とした農地の保全活動を支援します。

議員のこころエック

農業を取り巻く環境は、本町においても極めて厳しい。農地保全会を中心に、農地維持活動、資源向上活動(共同・長寿命化)を通じて農村環境を維持する取組はとても重要であり、この町を守ることに繋がっていく。

私もひとこと



地域の協力で農地や水路を守る活動が確実に広がっています。高根沢町の農村環境を守り次の世代へ引き継ぐため、今年も地域の皆様と協力し、農地保全の活動を着実に推進してまいります。

相乗効果



JR烏山線に乗車する高根沢高校生たち

高根沢高校・JR烏山線維持 存続対策事業費 300万円

県立高根沢高校への入学者確保とJR烏山線の利用向上を図るため、JR烏山線通学定期券購入費の補助を行います。

議員のこころエック

入学者確保とJR烏山線利用促進を関連させて事業を進めていくことは、相乗効果となる。乗客数の減少で存続が危ぶまれている烏山線。これらの事業により、存続の動きが大きくなることを期待できる。

私もひとこと



町の温かいご支援に心より御礼申し上げます。本校の生徒数は、この10年間で約200名減少しました。また、本校の生徒の7割近くが通学のために烏山線を利用しています。本校と烏山線は相互依存の関係にあります。今後とも地域連携事業の充実に向け、努力してまいります。

消防団をPR



次世代につながる
地域防災力向上
プロジェクト事業費
328万円

教育・装備・デジタル化を三位一体で推進する消防団強化モデル事業。

議員のここチェック

Q 本町が活用する消防団の力向上モデル事業の内容は？

A 地域安全課長
高校生への防災教育と消防団PRイベントを開催する。編み上げ安全靴の整備、出動支援アプリを導入し消防団を強化する。

私もひとこと



高根沢消防団長
ふるこおりたかゆき
古郡 隆行 さん

消防団はなるべく活躍しないほうがよい組織ですが、普段から訓練を重ね、地元に着ています。陽の当たらないところに光を当てていただくことは、もしもの時のための意欲の底上げに繋がります。非常に感謝しています。

ファインプレーを守る



町民広場野球場
改修事業費
2304万円

町民広場内野球場の安全性向上のため、スポーツ振興くじ (toto) の助成を活用してフェンスへの防護マット設置工事を行います。

議員のここチェック

事故によるけがを防止できるようになるので、果敢な守備に挑んでほしいです。

私もひとこと



「高根沢OB」選手
まくちひとし
菊地 仁 さん

選手にとっては、安全が一番なので迅速な対応に感謝しています。

町民広場野球場は、広い駐車場に隣接した素晴らしい野球場です。県内外のチームからは、高校野球の公式戦で使えるように施設を整備してほしいとの声も聞かれます。

学童保育の環境確保



中古バスにクーラーを付けた現在の教室

陽だまり保育園
学童クラブ整備事業費
6014万円

陽だまり保育園内に複合施設の一部として開始する学童クラブの新築工事に対し、事業費を助成します。うち、町の助成は1002万円。

議員のここチェック

Q 阿久津小学校の児童も利用できるのか？

A こどもみらい課長
入所は可能。

私もひとこと



保護者
むくのき ひでき
棕木 英貴 さん

現在の学童クラブの保育環境が整っていないため、中古バスを活用するなど工夫しています。

子どもたちの環境確保に懸念がありましたが、整備されることになり喜んでます。

新たな伝統へ



阿久津中学校改修事業費
7億9930万円

老朽化の進んでいる阿久津中学校の長寿命化を図るため、仮設校舎を設置して令和8年度から10年度にかけて大規模改修を実施します。

議員のここチェック

Q 3年間の総事業費の23億円の財源は？

A 学校教育課長
国庫補助金が約3億8000万円、起債が約12億円、町の支出が約7億2000万円。

私もひとこと



前・阿久津中学校教頭
きむら しんいち
木村 真一 さん

校舎の修繕は喫緊の課題でしたが、昨年度から準備を進めておりましたが国庫補助が不採択となり、今年ようやく採択されて大変喜ばしいです。伝統ある阿久津中学校の、よりよい学校づくりを期待します。

よりよい役場へ



職員研修費
170万円

多様化するニーズや社会環境の変化に的確に対応できる職員を育成するため研修を行います。内部研修では、職員同士で教え合うなど、様々な方法で個々のスキルと組織力の向上を目指します。

議員のここチェック

すべての職員が高根沢の「顔」。これまで通り、高い意識を持って研鑽を積み、職務に励んでほしい。

私もひとこと



のざわたかし
野沢 孝 さん

町役場の窓口の方たちの対応に感謝しています。

どの課であっても、待たせず声をかけてくれて応接してくれます。民間の窓口対応と比べても、とても素晴らしいと思います。

すくすく育てほしい



学校給食事業費
1億4033万円

旬の食材や地元の農産物を使用した学校給食を提供します。また、町の子育て支援の一環として、学校給食費を無償とします。

議員のここチェック

国の給食費負担軽減交付金等を学校給食費に充てることにより、児童生徒保護者の経済的負担を軽減する。子育て世代を応援したい。

私もひとこと



保護者
ねぎし はなこ
根岸 華子 さん

他県から本町に引っ越ししてきました。学校給食費の負担が以前の半分ほどになり、子育てしやすい町だと感じていました。安い学校給食費がさらに無償化されることになって、ありがたい限りです。

一般会計前年比9.9%増の

中学校体育館への空調設備は令和8年度中に整備

議会に上程された23議案のうち7議案が当委員会に付託され審査が行われました

144億1千万円を審議！

人口増対策、インフラ整備事業を審査

議会に上程された23議案のうち10案が当委員会に付託され審査が行われました



A 地域安全課長
災害時に建物被害の認定調査と罹災証明の発行にこのシステムを使う。平常時には避難行動要支援者名簿と個別避難計画の作成作業に活用できる。

Q 避難所運営費の被災者生活再建支援システムの内容は？
A 地域安全課長
災害時に建物被害の認定調査と罹災証明の発行にこのシステムを使う。平常時には避難行動要支援者名簿と個別避難計画の作成作業に活用できる。

Q 主な歳出は予算特集(P457)に掲載
A 住民課長
令和8年度は、住民課に限って行う。その状況を見て、どのようにするか検討したい。

Q 令和8年度一般会計当初予算
A 企画課長
東京圏でのPRは、県のとちぎ結婚支援センターやふる

A 健康福祉課長
家族や地域の方から町で収集した情報を提供していく町と社会福祉協議会とが一体となって、対象者の支援を行いたい。



Q ひきこもり支援推進事業は、社会福祉協議会への事業委託を考えていることだが、町との連携体制はどのようにするのか？
A 健康福祉課長
家族や地域の方から町で収集した情報を提供していく町と社会福祉協議会とが一体となって、対象者の支援を行いたい。

Q 「書かない窓口」を望む
A 住民課長
令和8年度は、住民課に限って行う。その状況を見て、どのようにするか検討したい。

Q 窓口DX事業で住民課に設置する窓口では、他の課で発行する証明書も取れるのか？
A 住民課長
令和8年度は、住民課に限って行う。その状況を見て、どのようにするか検討したい。

Q 人口対策推進事業(新規事業)の結婚新生活支援補助は、町外の方にどう周知していくのか？
A 企画課長
東京圏でのPRは、県のとちぎ結婚支援センターやふる

A こどもみらい課長
目標は令和10年4月として

Q のびのび保育園改修事業での移転のスケジュールは？
A こどもみらい課長
目標は令和10年4月として

Q のびのび保育園改修はいつ
A 学校教育課長
経年劣化等で毎年維持費用がかかってくるが、新学校給食センターの整備には20億円は必要という計画なので、財政計画の中に落とし込めない状況が続いている。更新コストと比較しながら、整備計画の見直し作業を進めたい。

Q 新学校給食センターの整備はいつ
A 学校教育課長
経年劣化等で毎年維持費用がかかってくるが、新学校給食センターの整備には20億円は必要という計画なので、財政計画の中に落とし込めない状況が続いている。更新コストと比較しながら、整備計画の見直し作業を進めたい。

Q 学校給食センターの整備はいつ
A 学校教育課長
経年劣化等で毎年維持費用がかかってくるが、新学校給食センターの整備には20億円は必要という計画なので、財政計画の中に落とし込めない状況が続いている。更新コストと比較しながら、整備計画の見直し作業を進めたい。

Q 学校給食センターの整備はいつ
A 学校教育課長
経年劣化等で毎年維持費用がかかってくるが、新学校給食センターの整備には20億円は必要という計画なので、財政計画の中に落とし込めない状況が続いている。更新コストと比較しながら、整備計画の見直し作業を進めたい。

A 委員会審査結果
全員一致で可決すべきものと決定



北中体育館
阿中体育館

A 学校教育課長
スケジュールとしては、7月までに設計を終え、8月下旬に入札、9月議会での承認を得てからの工事になる。

Q 中学校体育館に空調設備が整備される予定だが、いつ頃になるのか？
A 学校教育課長
スケジュールとしては、7月までに設計を終え、8月下旬に入札、9月議会での承認を得てからの工事になる。

Q 令和7年度一般会計補正予算
A 委員会審査結果
議案および陳情は、賛成多数で可決すべきもの、採択すべきものと決定。

A 総務課長
自治会での自発的な地域活動を応援するために創設し、見守り活動やイベントに活用してもらおうことを想定している。自治会で新たな事業を行うきっかけを創ることで自治会がより活性化することを狙っている。



Q 元気あつぷむら維持整備費での設計委託の内容は？
A 産業課長
令和6年度の調査で屋根と外壁の劣化状況を確認したので、その修繕のための設計。



Q 元気あつぷむら本館の屋根と外壁の修繕に着手
A 産業課長
令和6年度の調査で屋根と外壁の劣化状況を確認したので、その修繕のための設計。

Q 陳情の趣旨
唯一の戦争被爆国として、国是である政府の基本方針の非核三原則「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」を堅持する旨の意見書を、「非核平和都市宣言」をしている高根沢町議会からも日本政府に提出を求める陳情

Q 委員会審査結果
議案および陳情は、賛成多数で可決すべきもの、採択すべきものと決定。

Q 陳情の趣旨
唯一の戦争被爆国として、国是である政府の基本方針の非核三原則「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」を堅持する旨の意見書を、「非核平和都市宣言」をしている高根沢町議会からも日本政府に提出を求める陳情

Q 陳情の趣旨
唯一の戦争被爆国として、国是である政府の基本方針の非核三原則「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」を堅持する旨の意見書を、「非核平和都市宣言」をしている高根沢町議会からも日本政府に提出を求める陳情



くらしづくり
日常調査
報告全文

「運動を通じた健康作り」について 多角的に調査し、町に提言



図書館中央館での
ラジオ体操風景

調査の内容
 (1) 早朝ラジオ体操の視察。
 (2) 担当職員からの説明。
【調査にもとづく提言】
 高齢者の健康づくり対策
 ・高齢者のフレイル予防への
 関心をより高め、身近な公
 民館を通じたサロンの活動
 をさらに強化すべき。

ラジオ体操の活用

令和7年度は、②運動を通じた健康作りについて、ラジオ体操の活用、運動施設の活用、高齢者のフレイル予防について調査し、提言としてまとめ、町に提出しました。
 (項目①・③は令和6年度に中間報告として報告済み)

日常調査の項目

- ①子育て支援の充実
- ②運動を通じた健康作り
- ③自主防災組織の構築



さくら市運動公園の
ボルダリング壁

調査の内容
 (1) さくら市総合公園を視察し、健康と運動施設を調査。
 (2) 担当職員からの説明。
【調査にもとづく提言】
 世代に応じた運動施設の活用
 ・若い年齢層を含めた先進的な取り組みがどのようになされているかをさらに調査研究し、本町の健康推進事業について議論すべき。
 ・さくら市のようにtoto助成金を使って新たな運動施設を整備すべき。
 ・施設の整備に当たっては、現状の施設の使い勝手の確認と共に、さくら市のような施設が必要かどうかについて、町民にアンケート調査をすべき。

運動施設の活用



小学校跡地を利用した「向田ふれあいの里」活動風景

調査の内容
 (1) 先進的な取り組みをしている自治体（那須烏山市）を視察し、市独自の高齢者に対する健康づくり対策事業について調査する。
 (2) 担当者からの説明と視察。
【調査にもとづく提言】
 先進事例の調査と導入を
 ・高齢者の健康づくりや居場所として、今後廃校となる校舎を再活用し、地域の拠点とすべき。
 ・那須烏山市の高齢者対策事業は先進的であり、本町においても本格的な導入を検討すべき。
 ・高齢者対策事業では、運営スタッフの養成が事業成功のカギとなるため、この点も重視すべき。

高齢者のフレイル予防



両委員会の提言・要望をまとめ、町長に提出しました



くらしづくり委員会の活動内容

期 日	活動内容
令和7年8月19日	日常調査②の現状把握（図書館中央館） ・ラジオ体操に取り組もう！ ・健康福祉課および生涯学習課の事業について
令和7年11月10日	行政視察（さくら市総合公園およびさくら市役所） ・さくら総合公園多目的広場無料開放施設について
令和8年1月23日	行政視察（那須烏山市「向田ふれあいの里」） ・那須烏山市の介護予防事業について ・向田ふれあいの里について



まちづくり
日常調査
報告全文

「産業団地」「自治会の在り方」 について調査し、町に要望

まちづくり委員会の活動内容

期 日	活動内容
令和7年8月7日	行政視察（宇都宮市役所） ・宇都宮市による自治会支援策について
令和7年10月3日	日常調査②の現状把握（役場議員控室） ・産業団地の開発について
令和7年10月27日	行政視察（芳賀町役場） ・芳賀第2工業団地の整備について

日常調査の項目

- ①新庁舎等の整備について
（新庁舎や文化・スポーツ複合施設の整備の研究）
- ②産業団地の開発について
（産業団地やそれに伴う住宅地の開発の研究）
- ③自治会の在り方について
（自治会加入策や、自治会の活動の在り方の研究）

活動内容

担当部署に現状の説明を要請し、現況を把握するとともに、先進地にて視察を実施しました。

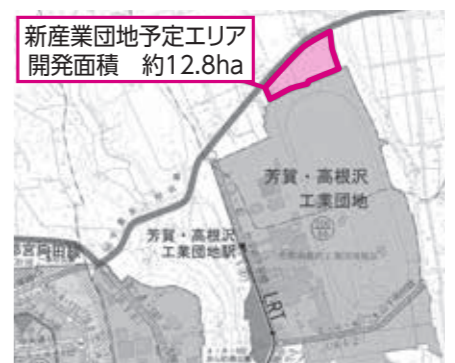
調査に基づく要望

- ①新庁舎等の整備（6年度公）
令和6年11月5日に「新庁舎等の整備に関する提言・意見」を提出しています。



ワクワクの予感！ 令和10年度完成予定の新庁舎

- ②産業団地の開発
令和12年度に予定どおり造

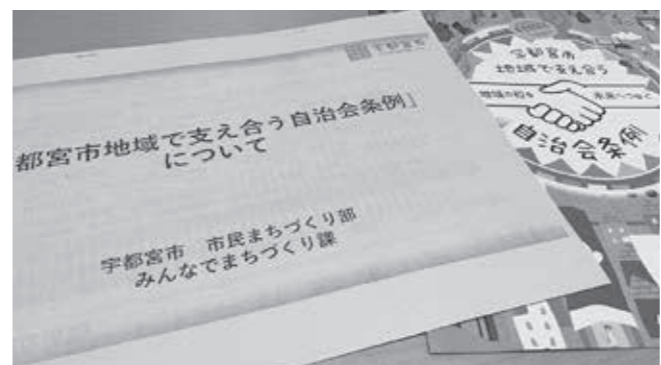


新産業団地予定エリア
開発面積 約12.8ha

成工事完了となるよう、県や事業主体となる団体との連携を密に行うこと、地権者や地域住民の声をよく聞き、丁寧に進めることを求めました。

③自治会の在り方

宇都宮市では、自治会条例の制定や、自治会の活性化や加入促進のための支援として、自治会関連予算を大幅に拡充しています。
 本町では昨年9月に自治会向けにアンケート調査を実施していることから、その結果を踏まえ、支援制度の設計にあたり、自治会の維持および活動の活性化のために、町に對し次のことを求めました。
 ・会長の任期が短い自治会も



あることから、自治会が分かりやすく、使いやすい自治会運営マニュアルを作成すること。
 ・物価上昇等の影響を鑑み、自治会の活動費を増額すること。
 ・自治会への支援について、町は側面的支援からより積極的な支援に変わったことが体現できるよう、自治会が今、必要としている支援は何か、自治会連合会との連携を図り、継続して把握し、支援策を講じること。

令和10年4月に 小規模小学校4校を2校に統合？

上高根沢小学校+東小学校 中央小学校+北小学校
保護者や関係者に対し十分な説明を！

2月24日

全員協議会
NEWS

1月22日

全員協議会
NEWS

1月22日、第435回臨時会に提出予定の議案のほか、重点支援地方交付金等について、各担当課長等からそれぞれ説明を受け、質疑が行われました。

重点支援地方交付金
(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)とは

政府の、エネルギー・食料品価格の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を、地方公共団体が地域の実情に応じた事業を実施できるように交付されます。

本町の重点支援地方交付金は2億5857万円

物価高騰の中 プレミアム付商品券発行事業について 町民への速やかな対応を！

◆本町への交付額	2億5857万円
◆本町での実施事業への充当額	
令和7年度予算(令和8年度へ繰り越し)	
プレミアム付商品券発行事業	6000万円
令和8年度予算	
水道料金基本料金減免事業	1億6400万円
給食費・副食材料費減免事業	3457万円

- プレミアム付商品券発行補助事業の内容**
- 【対象者】 高根沢町商工会
 - 【対象経費】
 - ・プレミアム付商品券分 5000万円
 - ・事務費 1500万円
- 購入限度額**
- 紙媒体商品券
 - ・一人につき2万円
 - 1セット1万円(1万3000円分の商品券)
 - デジタル商品券
 - ・一人につき1万円
 - 1セット5000円(7000円分の商品券)
- 販売対象者**
- 高根沢町に住所を有する18歳以上の者



令和5年度のPRポスター

主な質疑

なぜプレミアム付商品券なのか

Q プレミアム付商品券はお金がないと買えない。町民に公平になるような事業になぜしなかったのか？

A 町長 商工会からの要望もあり、町の商業の活性化、地域の活性化のために行いたい。町民全体が広く薄く利益を享受できるものとして、令和8年度に町の水道の基本料金8か月間減免を考えている。

一律現金給付または商品券配布にならなかったのか

Q 物価高騰への生活者応援であれば、一律の現金給付が商品券配布になぜならなかったのか？

A 町長 商品券を配布となると、大変な事務量になることや配布漏れや戻ってきた場合のリスク

クがあることから難しい。

販売方法は

Q 紙媒体商品券での一人当たり限度額2万円の上限をどのように把握して販売するのか？

A 町長 限度額の管理は商工会で考えていて、往復はがきで購入する仕組みと聞いている。

販売は令和8年度以降なぜ速やかな対応ができないのか

Q 物価高騰対応として速やかな対応を国から求められているが、なぜ8年度以降にしたのか？

A 産業課長 デジタル商品券の準備に3か月程度要することや、実施主体の商工会との打ち合わせの中で、令和7年度内での事業実施は難しいという状況もあり、現時点では新年度早々に設定している。

主な質疑

統合で校名が変わるのか

Q 令和8年度は、新しい学校の「学校名」や「校歌」をどうするかという協議が行われていくが、校名入りの運動着の在庫を多く抱えている繊維組合に対して、今後の対応は？

A 学校教育課長 繊維組合等の業者にも様々な影響があるので、一つひとつ整理していきたい。

第2段階の統合は

Q 第1段階と第2段階を合わせると、最終的に統合に20年かかるのか？

A 学校教育課長 第1段階は既存の校舎が使えるので、令和10年度を目指している。計画期間は10年として、残りの8年で次の統合に向けて検討をする。



小規模校の利点を活かした児童一人ひとりに応じたきめ細やかな指導【上高根沢小1年生】

2月24日、第436回定例会提出予定の議案のほか、町が進めている計画や事業について、また令和8年度の予算編成に係るパブリックコメントの結果等について、各担当課長から説明を受け、質疑が行われました。

小学校をどうするか

「高根沢町学校規模適正化基本計画(案)」の内容と今後の進め方

計画の趣旨

子どもたちの教育環境の充実を図るため、学校施設の規模や老朽化等の現状を総合的に勘案し、本町における「小規模小学校の統合方法」や「望ましい学校規模の考え方」等について、学校規模適正化に関する基本計画を策定する。



学校規模適正化基本計画(案)の詳細はこちら

望ましい学校規模の考え方

学校規模適正化検討委員会の答申を踏まえた、本町における小中学校の望ましい学校規模は次の通りです。

- ・1学級当たりの児童生徒数 20人〜30人
- ・1学年当たりの学級数
- 小学校 2〜4学級
- 中学校 3〜6学級

小規模小学校の統合方法

小規模小学校4校(中央小、東小、上高根沢小、北小)の統合を段階的に進める。

【統合第1段階】

令和8年度〜17年度
校舎は、北小と東小の既存



内側の下級生を外側の上級生が包む込むアットホームな修了式【中央小学校】



一般質問 町民の声を町政に!

一般質問って?

「一般質問」は、町の行財政全般に関し、議員主導で政策的な論議をする場です。質問時間は、一人につき質問、答弁、再質問を含め60分以内です。本誌では、太字の質問を要約して掲載しています。全質疑の詳細は、YouTubeをご覧ください。

小堀 秀一 議員 …………… P15

- ①小中学校の食物アレルギー対応給食について
- ②財政調整基金の現状と運用について
- ③地籍調査の進捗と土地改良事業について

森 弘子 議員 …………… P18

- ①ちよっ蔵広場内の路面改修の見直しは
- ②各小中学校にスクールカウンセラー配置を

瀧 幸彦 議員 …………… P16

- ①4人に1人が認知症予備軍になるといわれているが、本町の認知症対策は
- ②新庁舎建設に向けて寄附金募集やクラウドファンディングを実施すべき

横須賀 忠利 議員 …………… P19

- ①新庁舎に係る年度別事業費に関する資料が不存在とは
- ②町民広場周辺を中心とした新たな街づくりの構想は

小池 哲也 議員 …………… P17

- ①元気あっぷむらの現状を町民は不安視!
- ②国道408号バイパスが国道4号まで延伸、交流拠点施設を
- ③国道408号バイパス延伸、接続する町道との安全性は

野口 昌宏 議員 …………… P20

- ①移住者・定住者を増やすために、空き家バンク等のさらなる活用を
- ②視覚障がい者に寄り添った生活の安全と利便性の向上を



議会を

傍聴してみませんか

事前予約は必要ありません。入退場も自由です。どなたでも議会を傍聴することが出来ます。

- ・本会議(一般質問を含む)
- ・全員協議会
- ・議会運営委員会
- ・各委員会(非公開を除く)

などが傍聴可能です。

最も多いのは一般質問で、町民の代表である議員と町長をはじめとする町執行部との論戦が繰り広げられる場でもあり、間近で町政を感じる事ができます。時には町政の最新情報を得られることもあるかも知れません。

年4回の定例会(6月・9月・12月・3月)のほか臨時会があり、日程は決定次第、議会ホームページなどに掲載されます。

町民のための議会です。どなた様も一度、いや一度と言わず何度でも、議会に足を運んでみませんか。



問小中学校の食物アレルギー対応給食について

答【教育長】安全安心な提供に向けてアレルギー対応に取り組む



小堀 秀一 議員

子どもたちの安全安心を

Q

小中学校の食物アレルギー等の人数は?

A

教育長

現在、食物アレルギー対応のため、学校給食の詳細な献立表を提供している児童生徒は、小学生38名、中学生11名の計49名である。また、弁当を持参している児童生徒は、小学生4名、中学生3名の計7名である。そのうち食物アレルギーを理由として弁当を持参しているのは中学生1名となっている。

今後もし引き続き学校給食の安全安心な提供に向けアレルギー対応に取り組んでいく。

安心・安全な給食を確実に提供することや作業環境の改善を図るために

Q

新学校給食センターの整備は?

A

教育長

本事業について、町全体の



安心安全な学校給食を

財政計画は、先送りしている状況である。今後は、新庁舎整備や阿久津中学校校舎長寿命化改修工事等があるので、財政状況を勘案しながら、整備計画の見直しを含めた検討を進めていく。

なお、新給食センターにおける食物アレルギー対応については、アレルギー特定原材料を除去した「除去食」を提供するため、専用の調理エリアとして「食物アレルギー対応室」を整備する。また、除去品目の状況に応じて、除去材料の代わりに別の食材やメニューを提供する「代替食」についても併せて検討する。

問財政調整基金の現状と運用について

答【町長】条例に基づき適正な規模を維持するための財政運営を考える

Q

「財政調整基金」の現状は?

A

町長

適正とされる基金残高の規定等はなく、各自治体の考え方に委ねられており、不測の事態への備えとして適正かどうかの判断に基づき設定しているのが実情である。

なお、今後5年を見通した場合、不測の事態への備えに加え、少子高齢化による社会保障費の増大や物価高騰の影響、公債費の増加なども考慮すると、引き続き適正な財政調整基金の規模を維持するためには、選択と集中に基づく時宜にかなった財政運営が求められるものと考ええる。

Q

「財政調整基金」の運用状況は?

A

町長

現在、基金は、金融機関への普通預金や定期預金にて運用しており、定期預金については入札によって店頭金利を上回る金利で運用している。

なお、債券での運用は元本割れのリスクは低いとはいえ、金利上昇局面においては評価損が発生する可能性がある。また、一定の規模と期間があれば効率性も低下する。今後、長期的に運用可能な資金が生じた際には債券での運用も検討する余地があるが、現時点では定期預金での運用を継続していく。



問4人に1人が認知症予備軍になるといわれているが、本町の認知症対策は

答【町長】「やわらぎの会」や「オレンジカフェ」を開催している



YouTube

瀧 幸彦 議員

早急に認知症支援体制の構築を

Q 65歳以上の4人に1人が認知症と認知症予備軍になるといわれています。本町の孤独・孤立対策について確認するとともに認知症に対する施策を伺う。

A 町長 「やわらぎの会」や「オレンジカフェ」を開催し、認知症の方を介護している家族や地域住民が集まって話ができる場を提供するほか、「もの忘れ相談センター」を設置し相談を受け付けている。

また、「キャラバンメイト」が「認知症サポーター養成講座」を開催するとともに、「認知症地域支援推進員」が普及啓発活動を実施している。

認知症施策推進計画の策定状況は

Q 令和5年に成立した議員立法「共生社会の実現を促進するための認知症基

本法」第13条では、「市町村認知症施策推進計画」の策定が町の努力義務となっている。昨年4月時点で策定済みの自治体は9%だが、本町の策定状況を伺う。

A 町長 第10期介護保険事業計画と一体的に令和8年度に策定する予定。

町が導入した高齢者見守りシール「どこシル掲示板」
発見者がQRコードを読み込むことで、迅速にお家に帰ることができます。

準備はこれだけ

1. スマホのメールアドレスを用意する
2. 登録シートの記入
3. ラベルシールの貼付け

耐洗ラベル蓄光シール

高根沢町 AA0000

衣服等にアイロンで貼付けます

持ち物等に貼る暗闇で光るシール



解体された町民ホール 令和8年3月

問新庁舎建設に向けて寄附金募集やクラウドファンディングを実施すべき

答【町長】前向きに検討し、財源の確保に努める

ふるさと納税の現状は

Q 新庁舎整備事業費は1億2千万円と想定されている。大きな支出が予想されるのであれば、収入を増やすべきと考える。自治体がアイデア次第で大きく税収を伸ばせるのがふるさと納税である。本町のふるさと納税の寄附額は？

クラウドファンディングの実施を

Q 新庁舎整備に向けて寄附金募集やクラウドファンディング(インターネットによる資金調達)を実施してはどうか。新庁舎への期待感の醸成や愛着形成に資するものであると思う。

A 町長 前向きに検討し、財源の確保に努めていく。

小池 哲也 議員

YouTube



問元気あつぷむらの現状を町民は不安視！

答【町長】課題の整理と必要な対応を行う



客離れの要因と分析は

Q 元気あつぷむらの農産物直売所の業務開始が大幅に遅れ、グランピング施設も運営されていない。リニューアル構想の変更を余儀なくされ、客離れが進んでしまった。原因の分析、今後の対処、課題は？

A 町長 施設全体としての機能と魅力を発揮できておらず、運営体制に脆弱性を抱えている。農産物直売所は運営事業者が決定、グランピング施設は2月25日に契約が締結され、オープンに向けた準備を進めている。大広間レストランは誘致に向けた取組を進める。

元気あつぷむらの成功は、管理・運営方法が市場ニーズに合致しているか否かにかかっている。民間事業者から意見やアイデアを収集する「サウンディング型市場調査」を実施しており、調査で得られた情報を今後の管理・運営方法等に生かす。

問国道408号バイパスが国道4号まで延伸、交流拠点施設を

答【町長】課題整理を職員に指示

町の構想はいつに？

Q 国道408号宇都宮高根沢バイパスが国道4号まで延伸される。この地域に、交流拠点施設(道の駅/川の駅)を設けることは町民の大きな期待であり、高根沢町のさらなる活性化に繋がることが予想される。町はどのような構想を持っているか？

A 町長 408号バイパスの国道4号への接続は、交通結節点となり交流拠点として高いポテンシャルを有する。しかしな

問国道408号バイパス延伸、

接続する町道との安全性は

安全性の確保は十分か

Q 国道408号バイパスが国道4号まで延伸されるが、町道と接続する地点の安全性の確保は十分か？

A 町長 408号バイパスは、鷺ノ谷交差点から南の区間は既に供用され、現在は鷺ノ谷交差点から国道4号まで約1.3kmの区間の工事が進められて



国道408号バイパスが国道4号に接続。町民の期待は大きい



問 ちよつ蔵広場内の路面改修の見通しは 答 【町長】令和8年度の予算に計上している

森 弘子 議員



改修が望まれる路面

Q ちよつ蔵広場内の路面は、どこどころが剥がれ、高齢者にとってはつまづきやすい状態になっている。改修の見通しはあるのか？

A 町長

路面の舗装については、弾力性がある材料を使用することにより、柔らかな感触を感じ取れる一方で、素材の柔らかさゆえに削れやすいデメリットもある。現状は、通行の多い場所を中心に一部剥がれが生じているので、部分補修するための事業費を令和8年度一般会計予算案に計上している。

問 ちよつ蔵広場内の女性トイレの対策を



薄暗く入りにくいトイレ

Q 商工会館とちよつ蔵ホールの間にあるトイレは、奥に位置しているため暗く死角になりやすく、女性が利用するには物騒であるという声が出ている。対策が必要と考えるがどうか？

A 町長

男子トイレ・女子トイレ・多目的トイレがあり、駅前という特性上、24時間開放している。町の玄関口にもあたる場所でもあるので、通路の暗い箇所について安全対策を講じていく。

問 各小中学校にスクールカウンセラー配置を

答 【教育長】全ての小中学校に配置すべきと考えている

学校が安心して学べる場に

Q 子どもが悩みを打ち明ける相手として、保健室の養護教員やスクールカウンセラーの役割は大きいことから、各小中学校に一人の配置が必要と考えるがどうか？

A 教育長

子どもたちが悩みを相談できる相手として、養護教員やスクールカウンセラーの果たす役割は、大変重要であると認識している。

本町では、平成12年度からスクールカウンセラーを、平成20年度からスクールソーシャルワーカーをそれぞれ町独自で配置し、関係機関と連携しながら相談体制の充実に努めてきた。



本来は、県が派遣するスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーがすべての学校に配置されるべきと考えている。現在、県からスクールカウンセラーが2名、スクールソーシャルワーカーが1名派遣され、中学校を中心に週1回勤務。町採用のスクールカウンセラーを3名、小中学校に週1〜2回配置している。

今後も相談支援体制の一層の充実に取り組んでいく。

問 町民広場周辺を中心とした

答 【町長】現時点での構想はない

新たな街づくりを

Q 新庁舎完成後に町民広場を中心とした新たな街づくりの構想についてのか？

していく必要があるため、現時点では町民広場を中心とした街づくりについての構想はない。

聴取の仕組みづくりを

Q 町民広場周辺地域の土地所有者や自治会等に立するよう町が働きかけ、そうした団体でまとめた町民の意見を聴く仕組みづくりをすることについて、考えはあるのか？

A 町長

新庁舎の完成後は、新たな街のランドデザインが必要となることも考えられるので、今後、調査・研究に着手していく必要があると考えている。そのような中で、どのように住民や土地所有者から意見を伺っていくべきか検討していく。



町民広場周辺の新たな街づくりは

A 町長

町民広場は市街化調整区域内にあり、その周辺の土地利用については、関係機関との協議の中で様々な条件を解決



問 新庁舎に係る年度別事業費に関する資料が不存在とは 答 【町長】予算に直接的に関与しない資料は作成していない

横須賀 忠利 議員



総事業費105億円の年度別資料は不存在

Q 情報公開請求した新庁舎整備事業に係る年度別事業費（実績・見込み）に関する資料のうち、見込みに関する資料は不存在とのことだが、不存在とはどういうことか？

A 町長

基本設計完了時における総事業費約105億円に関しては、工事発注時点である令和8年度における物価高騰等を考慮していない総事業費であり、物価高騰等を考慮した総事業費は約112億円ということをこれまでも説明している。

令和8年度以降の事業費見込みは、物価高騰等を考慮した総事業費112億円に基づき行っており、予算に直接的に関与しない105億円に基づく年度別事業費に関する資料は作成していないことから「不存在」とした。

建設請負工事契約は

Q 建設請負工事に係る契約は、どのような方法によるのか？

A 町長

契約は、一般競争入札・指名競争入札・随意契約などの方法により締結されている。

新庁舎等建設請負工事契約は

Q 新庁舎等建設請負工事契約はどのような方式の契約とするのか？

A 町長

新庁舎等建設請負工事契約については、法令等に基づいた入札を行ったうえで決定した事業者と工事請負契約を締結する方針である。

高校生のリアルな声を 聴かせて!



たかこう生との カフェ・ド・ギカイ



問 移住者・定住者を増やすために、空き家バンク等のさらなる活用を
答 【町長】不動産業者と情報共有しつつ転出者の抑制や財政支援を図りたい



野口 昌宏 議員



現在の空き家対策は

Q 本町は土地利用の規制が厳しく、住宅を建てる地域が制限されているが、移住者・定住者を促進するために、どのような対策がとられているか?

A 町長 本町では「高根沢町空き家バンク制度」を設け活用を促進を図っている。この制度は、栃木県宅建協会指定の不動産業者と情報共有しつつ行われている。
また、空き家の除去等を支援する助成制度として「空き家等活用支援補助金」「空き家等解体補助金」を創設した。加えて次年度から子育て世代を対象に新たな助成制度を検討中であり、これらの制度を広報誌やホームページを通して周知を図っていく。



ベッドタウンとしての本町の位置づけは

Q 本町では清原工業団地や町内の企業に通勤している方が、若い方も含めて一定数おり、その意味で本町は通勤者の方たちのベッドタウンになっていると言える。このような方たちをさらに増やし、今後も定住し続けてもらうための対策を考えているか?

A 町長 本町は宇都宮市、芳賀町の通勤圏に位置しており「ベッドタウン」の機能を有しているが、本町の特徴として「本町および隣接市町に立地している企業への就職を契機とした転入者が多い町」といえる。しかし、「結婚や出産を契機として近隣自治体への転出が多い」という特徴もあることから、「転入促進」以上に、「転出抑制」のための施策を講じていく必要があると考える。
国の移住支援事業等の財政支援も活用しつつ、庁舎内の所管を横断的に連携しながら、人口対策の推進を行っていく。

問 視覚障がい者に寄り添った生活の安全と利便性の向上を

答 【町長】必要な対応を検討しつつ関係機関に要望していく

音響信号や点字ブロックの設置を

Q 本町における視覚障がいの方が、一定数おられると聞いている。その方たちが商業施設を利用する際に、隣接する横断歩道に音響信号が付いていないことや点字ブロック等の案内がないことで、非常な不便と危険を感じているとの話を伺った。

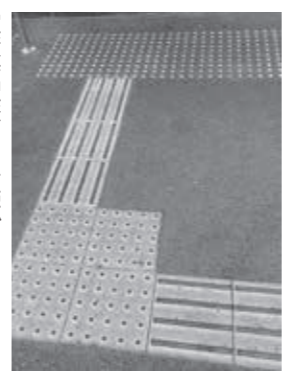
信号等の設置は警察の管轄になるが、道路への点字ブロック等の設置は町の所管になる。



サンヒルマンション北側にある町内唯一の音響信号機

町としても関係各所に働きかけ、障がいを持つ方がより安全に生活できる対応措置をとることが必要ではないか?

A 町長 信号機の設置や改良については、自治会や視覚障害者の団体から要望があれば、町から警察に伝えたい。
点字ブロックについては、要望箇所を把握した上で、箇所ごとに歩道の有無、設置の可否を検討したい。



宝積寺駅構内の点字ブロック



最も寒い時期である1月30日に栃木県立高根沢高校の生徒9名と議員は、「高根沢町の現状や課題」と、それを解決するための提言をテーマにカフェ・ド・ギカイを開催し、意見を交換しました。
高校生たちの活発で積極的な意見に、議員が緊張しながら回答する様子も見られ、貴重な体験となりました。このコーナーでは、高校生の意見と、それに対する議員の考えを掲載していきます。

町農産物で商品開発を



山川 大貴さん

観光客入込数を維持、または増加させるための対策として、町で生産している農産物を使って新しい商品を作ることに必要であると思う。

議員から

地元の大豆を使った「御料みそ」や「豆腐」作りの継続や、特産品である「ゆず」を利用したジャムやジュース作りができないか考えています。

LRTと烏山線を結ぶサイクル・ルートの整備



佐々木 都和さん

JR烏山線の宝積寺駅などとLRTを自転車で行くルートを整備し、SNSやホームページなどで情報発信する。

議員から

安心安全に自転車に乗ることが出来る道路の整備が今後必要と思われるため、調査・検討していきたいと思えます。

JR烏山線の維持存続対策



佐滝 心菜さん

JR烏山線は近年、乗客数の減少により赤字路線となり、存続が危ぶまれているため増加させる対策が急務である。

議員から

烏山線を利用したイベントの開催や烏山線利用促進のための情報共有会議等で高校生の提言なども議題に乗せて検討できるように働きかけていきたいと考えています。

難易度を下げた「デコ活×エゴ」の作成を



石川 友太郎さん

若い世代の防災意識の向上

高校生を含めた防犯訓練や体験型避難訓練を実施することや、学校や町が連携し、授業や行事の中で防災についての学ぶ機会を増やす。また、SNSの活用や地域住民が協力し合える体制を整え、災害時に迅速な初期対応ができる環境をつくる。

議員から

今年も高校での防災訓練を予定していますので参加してください。避難所運営体験については学校行事の一つとして取り組むことも可能だと思いますので、まずは学校に相談してみてください。また、自治会には自主防災組織があり毎年、防災訓練を行っていますので、自治会に声をかけてみて高校生として地域の訓練に参加してみてください。

子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しみながら気軽に遊べるゲームを活用することで、環境問題に関心を持ち「脱炭素の暮らし方」を身近に感じられるようにする。

議員から

子どもからお年寄りまでが納得できるような物を作成することは、とても難しいことですが、ぜひ、高校生の皆さんの知恵を生かして作っていただきたいと考えています。

「障がい児者サポーター養成講座」の受講を高校生にも



須藤 蓮さん

障がい者の方々を理解できるように「障がい児者サポーター養成講座」を、高校生を含めた幅広い年齢層の方が受講できるようにしてもらいたい。

人と人がつながる高根沢へ



吉野 歩里さん

高根沢高校生と町の小中学生や高齢者が交流できるイベントができれば、若い世代への地域への関心向上やイベントの内容次第では生涯学習・文化・スポーツに親しむ環境を作れるのではないかと。

議員から

町では「障がい児者サポーター養成講座」を、高校生を含めた幅広い年齢層の方が理解し、サポートしてもらえよう令和元年度より実施していますが、受講生は役場職員や事業関係者が多いようです。高校生の講座受講については学校や生徒会が要請すれば、町職員が学校へ出向いて出前講座を実施する形になります。

議員から

イベントに関する提案としては、高根沢高校で実施しているイベントに幅広い世代の方に参加してもらうことが考えられます。また、高根沢町で行っているイベントや施設に高根沢高校の生徒が参加することです。さらに、生徒自身が新しいイベントの企画や運営を実現することが、人と人がつながることになると思います。

街灯を増やしてほしい



宮本 苺香さん

街灯を増やすことで明るくなれば通る人も安心するし、犯罪の抑止力につながる。人の少ない場所だからこそ、明るいことで安心感が生まれれば、外出したい人たちが出かけやすくなるのではないかと。

議員から

防犯対策として、街灯や防犯灯を設置するという考えはその通りです。しかし、設置するに当たっては、農産物の生育に悪影響を与える光の害への対策などから設置間隔が決められているなど様々な条件があります。また、夜道の防犯対策として懐中電灯の所持や防犯ブザーの活用などが有効手段となります。さらに友人と登下校したり、夜間の外出を控えたりすることで、自分の身を守る対策も取り入れてください。

駐在所の設置を



大竹 初奈さん

仁井田駅に駐在所を設置し、警察官が地域と密着して防犯活動等を実施する。駐在所が存在するだけで、地域の犯罪抑止力が高まり、地域住民や高校生などの身近な不安を解消するメリットがある。

また、仁井田駅を定期的に清掃したり、花を育てたりし

たい。

議員から

仁井田駅に駐在所を設置することは良い事だと思いが、町で設置するものではありませんので、民意を強固なものにしていき、県や警察に訴えていきたいと思えます。

また、仁井田駅を定期的に清掃したり花を育てたりすることは本当に良い取り組みです。みなさんがやりたいと思えば直ぐにできることで、行動に移してもらえば、仁井田駅周辺も犯罪が起これにくい安心・安全な場所になると思います。



私たちの未来に夢と希望を！
(生徒代表へ感謝状を贈呈)

町へ情報提供しました！

今回の内容をまちづくり・くらしづくりの各常任委員会で審議し、全員協議会に諮り、町に情報提供しました。

高校生ならではの視点や感性に触れることができ、相互理解が深まりました。

今後も多角的な視点から議会活動に励んでいきます。

参加した高校生の感想など（抜粋）

- 私が知らない高根沢町の現状を知ることができた。
- 実現可能な施策なのか等を細かく理解できた。
- 自分の意見について回答をもらえて自信になった。
- 議員が町のために色々考えていてすごいと思った。
- 意見がどんどん出てくるのが面白いと感じた。
- どんな雰囲気でもどんなことを話しているか傍聴してみたい。
- 議会や政治に興味を持てたので、友達や家族と話したい。



広報委員の
突撃インタビュー
あなたの声を
町政に

夢はプロ野球
選手!



かいしょうすけ
甲斐咲輔さん(東高谷)

ものごころのついた頃から身近に野球があり、学童・中学・高校を通して野球に打ち込んできた甲斐さん。
投手として日々練習に励み、仲間と共に甲子園を目指した高校生活。
今春、現役で国立大学への進学に勝利し、夢に向かって新たなスタートを切ろうとしています。

県立大田原高等学校 3月卒業
趣味 筋力トレーニング
好きな言葉 「なせば成る!!」

野球漬けの高校生活

Q 大田原高校の生活はどのようなものでしたか？

A 甲子園を目指し、野球漬けの毎日を送りました。

毎朝5時に起き、父に宝積寺駅まで送ってもらい、7時過ぎに学校に着くと、授業の前まで自主練習を行い、放課後も部活動の後、一人残って投球練習をしました。帰宅するのは10時を過ぎ、その後勉強もして、12時に就寝するという生活を毎日続けました。大変でしたが、家族の支えがあったのと、両親には深く感謝しています。

恩師との出会い

Q 野球を始めたきっかけとそこまで取り組む原動力になったものは何ですか？

A 父や兄が野球をしていた関係で、幼い頃から生活の中で野球がありました。

本格的に始めたのは、北高根沢中学校で野球部顧問だった田崎先生との出会いがきっかけです。先生は大田原高校野球部OBで、野球の楽しさと奥深さを教えてくれました。また、先生の姿を通して、自分も野球の指導者になりたいと思うようになりました。

甲子園への思い

Q 甲子園を目指した思いはどのようなものですか？

A 2年の秋にエースナンバーをもらい、仲間と臨んだ3年の夏の最後の試合では1回戦で惜敗しました。リリーフとしての登板で、自分なりの思いはいろいろとあります。甲子園に出場して、お世話になった方々に恩返しがあったと今でも思います。

将来の目標は

Q これから目指す目標は？

A この春、国立鹿屋体育大学に進学します。大学ではバドミントン系と解剖学などを中心に学びたいと考えています。将来は、体育教師になって母校の野球部の監督となり、甲子園を目指したい！

県北に甲子園の風を吹かせることが自分の目標です。両親や兄、応援してくれた方々に恩返しをしたいです。

この町への期待は

Q 最後に、高根沢町に期待することは何でしょうか？

A 自然の豊かさとともに、



住宅が増えてきていると実感します。二つの面を併せ持つこの町の良さを、多くの人に広く認知されるようになって欲しいですね。

取材を終えて

まさに文武両道を実践し抜いた甲斐さん、本当にすごい！お世話になった方々への恩返しをしたとの決意は、私たちの心に強く響きます。ご両親の喜ぶお顔が目に見えます。ガンバレ甲斐さん！

(野口)

編集後記

令和8年度予算審議や、高根沢高校生とのカフェ・ド・ギカイを中心に編集しました。ご意見・感想などのお便り、お待ちしております。(下記住所・町議会宛て)

広報誌が
スマホで
見れて便利
「マチイロ」&
「栃木イーブックス」
を検索



マチイロHP



トチギ
イーブックスHP